

「消化器内視鏡スタッフマニュアル」

光島 徹・田辺 聡 監修
松本 雄三・木下千万子 編

信州大学医学部附属病院内視鏡診療部

赤 松 泰 次

内視鏡室は、医師、看護師、内視鏡技師、臨床工学技士、医療事務など、さまざまな職種のスタッフの協力によって運営されている。本書は主に内視鏡室に勤務するコメディカルスタッフを対象に発刊され、執筆者も医師だけでなく内視鏡の現場を熟知したベテランのコメディカルの方々が随所に担当しており、従来の医師主導のマニュアル本とは一線を画する秀書である。内容はきわめて実践的かつ具体的にわかりやすく解説されている。内視鏡室で勤務を始めて日が浅いコメディカルスタッフが消化器内視鏡全般にわたる知識を身に付けるためだけでなく、ある程度内視鏡室での勤務経験があるコメディカルスタッフにとっても、より

専門的な知識の習得とスキルアップのために役立つと思われる。

I章は「安全で快適な内視鏡を提供するために」と題して、内視鏡機器の管理や内視鏡室で取り扱う備品や薬品の説明の他、医療スタッフの連携やリスクマネジメントについて解説され、II章は「受診者が満足する内視鏡検査を提供するために」と題して、内視鏡検査の概要や介助のコツ、患者への配慮や観察のポイントなどが記載されている。III章は「確実な内視鏡治療を援助するために」、IV章は「救命救急のために」と題して、さまざまな内視鏡治療の概要と使用する処置具の解説および介助のコツが述べられている。さらにV章は「保険について」と題し

て、内視鏡スタッフが知っておくべき保険点数が一覧表にまとめてられている。

このように本書は、消化器内視鏡に携わるコメディカルスタッフにとって必要不可欠な知識がすべて網羅された「オールインワン」の指南書であり、すべての内視鏡室にぜひ1冊備えることを勧めたい。医師とコメディカルスタッフがそれぞれ共にレベルアップを図っていくことが、より安全で有益な内視鏡診療につながるものと確信する。

●B5 頁328 2008年 定価4,620円
(本体4,400円+税5%)

医学書院 刊(☎03-3817-5657)